

第31章

アルマ 36 – 39 章

はじめに

アルマ 36 – 39 章には、アルマが 3 人の息子ヒラマン、シブロン、コリアントンに最後に与えた助言が載っている。忠実なヒラマンとシブロンに対する助言は、不従順なコリアントンに対する助言とは大きく異なっていた。人生でどのような助言を受けるかは、本人がこれまで受けてきた助言にどれほど従ってきたかによってある程度決まるものである（アルマ 12:9 – 11 参照）。

アルマの改宗談は、どうしたら罪が赦^{ゆる}されたことが分かるかをはっきり示す一つの例である。アルマがシブロンに与えた助言から、人生で確固としていることには力と価値があることが分かる。最後に、コリアントンへの胸の痛む助言から、性的な逸脱がいかに重大で有害であるかが分かる。

注解

アルマ 36 章 交差対句法

• 交差配列法とも呼ばれる「交差対句法（カイアズマス）」は、ヘブライ語の修辞法の一つであり、ある順序で並べた言葉または概念を逆の順序で繰り返すものである。このように繰り返すことによって、重要な概念と言葉を強調する。さらに、筆者が伝えたい主概念はしばしば交差対句法の真ん中に置かれる。

アルマは交差対句法を使って自分の改宗談をヒラマンに伝えた。交差対句法のようなセム語派の修辞法が使われているということは、モルモン書は預言者ジョセフ・スミスが主張するように中東の言語で書かれた古代の原文を翻訳したものであるという外形的な証拠である。

次の図は、アルマ 36 章に出てくる交差対句法を理解するための参考になるであろう。便宜上、図では A から始まって左から右へ少しずつずらしながら P で終わるように配置している。したがって、交差対句法の最初の節で表現されている内容、つまりアルマ 36:1（A の位置）が、交差対句法の最後の節であるアルマ 36:30（これも A の位置）で繰り返されている。また、アルマ 36:2（D の位置）の内容が、29 節（これも D の位置）で繰り返されている。その他も同様である。

- A. わたしの言葉に耳を傾けなさい（1 節）
- B. あなたは神の戒めを守るかぎり地に栄えるであろう（1 節）
- C. わたしと同じようにしてもらいたい（2 節）
- D. わたしたちの先祖が囚^{とら}われの身にあったことを思い起こしてもらいたい（2 節）
- E. わたしたちの先祖は奴隷の状態にあり（2 節）
- F. 神は、確かに……彼らを救い出された（2 節）
- G. 神に頼る（3 節）
- H. 試練や災難や苦難の中であって支えられ（3 節）
- I. わたしがそれを自分独りで知ったと思ってもらいたくない。……神から知らされたのである（4 節）
- J. 神から生まれて（5 節）
- K. わたしは……歩き回って、神の教会を滅ぼそうとしていた（6 節）
- L. わたしは……手足を動かすこともできなかった（10 節）
- M. わたしが思ったのは……神の御前に立たされ……ることはいないだろうということであった（15 節）
- N. 罰の定めを受けた者の苦痛（16 節）
- O. 自分の多くの罪を思い出してひどく苦しみ（17 節）
- P. イエス・キリストという御方、神の御子を思い出した（17 節）
- P. わたしは心の中で、「おお、神の御子イエスよ」と叫んだ（18 節）
- O. 二度と罪を思い出して苦しむことがなくなった（19 節）
- N. 前に感じた苦痛に勝るほどの喜び（20 節）
- M. わたしはそこ（神の御前）に行きたいと切に望んだ（22 節）
- L. わたしの手足は再び力を取り戻した（23 節）
- K. わたしは人々を悔い改めに導き（24 節）
- J. 神から生まれ（26 節）
- I. わたしが知っていることは、神から出たものである（26 節）
- H. 試練と災難の下で、また苦難の中で支えられてきた（27 節）
- G. 神を信頼している（27 節）
- F. 神はわたしを救い出しよみがえらせてくださるであろう（27 – 28 節）
- E. 奴隷と束縛の状態から先祖を救い出してくださった（28 節）
- D. 先祖が囚われの身にあったことをいつも思い起こす（29 節）
- C. わたしが知っているように知らなければならない（30 節）
- B. 神の戒めを守るかぎり地に栄える（30 節）
- A. これは神の御言葉による（30 節）

この交差対句法の中心となるメッセージは、大きな苦しみと悲しみを経験し、イエス・キリストに救いを求めたアルマの生涯のその時期に焦点を当てたものであることに留意する（アルマ 36：17－18 参照）。

アルマ 36：2－3 神の^{あわ}憐れみを思い起こす

• アルマ 36：2－3 では、モルモン書の全体を通して強調されているテーマが引き続き語られる。ニーファイの記述は、「主の深い憐れみは、信仰があるために主から選ばれたすべての者のうえに及び、この人たちを強くして自らを解放する力さえ与えることを……示そう」という言葉で始まっている（1 ニーファイ 1：20）。アルマ 36 章でアルマは、先祖が^{とら}囚われの身にあったことと、神に頼る者を神が救い出してくださったことを思い起こすようにと息子たちに教えている（アルマ 36：2－3，29 参照）。

後にモロナイは、「アダムが造られてから……主が人の子らにどれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こ〔す〕」ようにとわたしたちに勧めている（モロナイ 10：3）。このことを最も力を込めて語ったのは息子アルマであろう。「さて見よ、今この教会に属している^{はらから}同胞よ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは、先祖が囚われの状態にあったことをよく覚えているか。先祖に対する神の憐れみと寛容をよく覚えているか。また神が彼らを地獄から救い出されたことをよく覚えているか。」（アルマ 5：6）

アルマ 36：6－10 アルマが地に倒れていたのは、2 日間か、それとも 3 日間か

• 「モルモン書の読者の中には、アルマの改宗談は、モーサヤ 27：23 とアルマ 36：10 とでは記述に食い違いがあると主張する者がある。確かに一方の記述では『二日二晩』、他方では『三日三晩』となっている。しかし、同じことについて述べているわけではないのだから、明白な食い違いがあるとは言えない。モーサヤ書では、明らかに祭司たちが断食した期間を述べているのであって、アルマが倒れていた期間については正確な記述がない。話の大筋を見てみよう。アルマは天使に会い、自分がとてつもない罪を犯していることに気づいて地に倒れ、死んだようになる。そして、気を失った状態のまま父親のもとに運ばれる。するとアルマの父親は教会の祭司たちを呼んだ。そして、『彼らが二日二晩断食して祈ったところ、ア



© 1996 ロバート・バレット

ルマの手足は力を取り戻した。』（モーサヤ 27：22－23，強調付加）これに対してアルマ書の記述では、『三日三晩』とは、明らかにアルマが口を開くことも手足を動かすこともできなかった全時間を指しているのである（アルマ 36：10）。」（ダニエル・H・ラドロー、*A Companion to Your Study of the Book of Mormon* [1976 年]，217－218）

アルマ 36：11－16 神の^{みこころ}御心に添った悲しみ

• エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899－1994 年）は、この世的な悲しみと、悔い改めに必要な神の御心に添った深い悲しみは異なると教えている。

「自らの過ちを後悔する人は決して少なくありません。自分の行いのゆえに、自分自身が苦しむだけでなく、愛する人々に大きな悲しみや苦痛を及ぼし、それで後悔の念にさいなまれる人もいます。また、自分の行動が原因で、逮捕されたり処罰されて悲しむ人もいます。しかし、このような悲しみは『神のみこころに添うた悲しみ』（2 コリント 7：10 参照）とは言えません。……

神の御心に添った悲しみは、^{みたま たまもの}御霊の賜物の一つです。それは自分の行いが御父であり神である御方に対する背罪であることを深く認識することです。また救い主が最も偉大な御方で、罪とは一切無縁であったにもかかわらず、わたしたちの行いのために苦しみを受けられたということをはっきりと自覚することでもあります。主はわたしたちの罪のためにあらゆる毛穴から血を流されたのです。霊的に、また精神的にこのような苦痛を味わうことについて、聖典には、『打ち砕かれた心と悔いる霊』を持つという表現が用いられています（3 ニーファイ 9：20；モロナイ 6：2；教義と聖約 20：37；59：8；詩篇 34：18；51：17；イザヤ 57：15 参照）。真に悔い改めるためには、このような精神が絶対に必要です。」（「大いなる改心」『聖徒の道』1990 年 3 月号，4－5 参照）

• 十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老はさらに、神の御心に添った悲しみを感ずる理由の一つを次のように説明している。「罪の結果として生じる^{あわ}苦しみは、憐れみ深い御父の、幸福の計画の一部として意図的に組み込まれました。わたしたちが人生において、破滅的な道をたどる必要がないようにするためです。罪人はこの世で^{ゆる}苦しみを受けるだけではありません。真の悔い改めによる罪の赦しを受けていなければ、とばりを越えてからも苦しみを被るのです（教義と聖約 19：4，15－24 参照）。」（『リアホナ』2002 年 11 月号，87）

アルマ 36 : 17 - 21

アルマはどのようにして苦しみから解放されたか。赦されたときの気持ちをアルマはどのように描写しているか。

アルマ 36 : 17 - 21 「わたしはもはや苦痛を忘れることができた」

• スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985 年）は、悔い改めの過程でイエス・キリストに完全にすがる必要があることを指摘している。

「アルマの記述を読んでいると、感覚の鋭い読者ならある程度彼の身になって、彼の痛みを感じ、自分が犯した罪の深さを認めたときの言いようのない恐れを味わうことができるであろう。これだけでなく、アルマが見いだした大いなる慰めも味わうことができるであろう。アルマはどのようにしてこの慰めを見いだしたのであるか。同じ方法で戒めに背くすべての人が救われ得るのである。すなわち心から悔い改め、赦しの奇跡にあずかり、自分のすべてをキリストの憐れみにゆだねることである。……

今や苦悩は喜びに変わり、苦痛は和らぎ、闇は光に変わったのである。ここに至って初めてアルマは平安を得たのである。アルマは息子シブロンにこの平安を得られる唯一の源を強調している。

『……主イエス・キリストに憐れみを叫び求めるまでは、決して罪の赦しを受けなかった。しかし見よ、主に叫び求めたところ、自分の霊に安息を得た。』（アルマ 38 : 8）」（『赦しの奇跡』380）

• エズラ・タフト・ベンソン大管長は、心から悔い改めるには心を変える必要があると説明している。

「悔い改めは単に行いを変えるという以上の事柄なのです。世の中には強固な意志と克己心をもって悪習や肉体的な面の弱さを克服している人が数多くいます。しかし彼らは主に心を向けることをせず、時には公然と主を否定します。このような人々の行動の変化は、たとえ良い方向性を持っているにしても、真の悔い改めと言うことはできません。……

……悔い改めをするには単に行いを変えるだけではなく、心も変えなければならないということです。」（『大いなる改心』『聖徒の道』1990 年 3 月号, 4）

アルマ 36 : 23 - 24 人が生まれ変わった証拠

• エズラ・タフト・ベンソン大管長は、新たな誕生の一部で

ある変化について次のように説明している。「主イエス・キリストへの信仰と御霊の力を通してしかできないこの大きな変化を体験した人は、新たな人になったとすることができます。それで、この変化は新たな誕生にたとえられるのです。これまでに数多くの教会員がこの変化を身をもって体験してきました。罪に汚れた生活を捨て去っているのです。その中には、深刻で忌まわしい罪もあります。しかしキリストの血によって自分の生活を清め、汚れを取り去っているのです。もはや以前の生活に戻るような気持ちはなくなり、確かに新たな人となっています。これが心を変えるということですよ。」（『大いなる改心』『聖徒の道』1990 年 3 月号, 4）

アルマ 36 : 30 「地に栄える」

• アルマは、「地に栄える」という、モルモン書の中に繰り返し出てくるテーマに触れている。アルマ 36 : 30 を読むと、どのような場合に「地に栄える」のかが分かる。地に住む者が皆この世で物質面で豊かになるというわけではない。「栄える」という言葉には霊的な意味がある。この節から、「神の戒めを守らなければ」栄えず、「神の御前から絶たれる」ということが分かる。したがって、「地に栄える」者は、主に近くあるという霊的な祝福を得ている者である。このような人は、主の前に行く道を歩んでいるのである。

アルマ 37 章 聖文の大切さと価値

• アルマは、息子のヒラマンに霊的な指導者となり新しい記録者となってもらうため、聖文の大切さを強調した。アルマが強調した主要点の中には、主が真鍮の版とニーファイ人の記録を簡単であるが驚くべき方法で保存してこられたことが含まれている（アルマ 37 : 1 - 5 参照）。アルマは自分の民の記録を書き続けるようヒラマンに命じ、聖文には、多くのことを思い出させ、自分の行いが誤っていることを納得させ、神と神の救いの計画について知らせるという目的があることを教えた（8 - 9 節参照）。次にアルマは、戒めを守る者のみが聖文を記録するにふさわしいことをヒラマンに指摘した（14 - 16 節参照）。さらにアルマは、息子ヒラマンとわたしたちに、キリストの言葉に従う者は「この悲しみの谷を越えてはるかに良い約束の地へわたしたちを導き入れ」られると約束した（45 節）。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、個人の聖文研究からさらに多くのことを学び取れる方法を説明している。「聖典にはキリストの言葉が記されています。聖典は、すぐ手の届く所にある、いつまでもたつぷりと飲み続けることのできる、生ける水の源です。皆さんもわたしも、『生ける水の源』（1 ニーファイ 11 : 25。エテル 8 : 26 ; 12 : 28 と比較）であるキリストを頼りとし、キリストのみもとへ行く



必要があります。そのために、聖典にあるキリストの言葉を『読んで』（モーサヤ 1:5 参照）、『研究』（教義と聖約 26:1 参照）、『調べ』（ヨハネ 5:39；アルマ 17:2 参照）、『よく味わう』（2 ニーファイ 32:3 参照）必要があります。

そうするならば、霊的な導きと守りを受けながら、この人生を歩むことができます。」「（「生ける水の源」〔ヤングアダルト対象の CES ファイヤサイド、2007 年 2 月 4 日〕、1 - 2）

アルマ 37:1 - 8

アルマが小さな簡単なことの持つ力について話したのは、何について述べていたときか。この原則は聖文研究にどのように当てはまるか。

アルマ 37:6 - 7 「小さな、簡単なこと」

• 十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老は、小さな簡単なことに心を向けることの大切さを教えている。

「世界を揺るがすような出来事が目の前で展開されていますが、わたしたち一人一人の生活における主の目的は、普通、小さな簡単なことを通して達成されるのであり、重大で目を見張るようなことによってではないことを忘れてはなりません。……

わたしたちは、人目を引く大きな事柄に気を取られて、小さなことを見過ごしにしがちです。リアホナが信仰によって動くことについて、アルマはこう述べました。『しかし、それらの奇跡は小さな手段によって行われたため、〔リーハイの一行〕が怠けて、信仰を働かせることと熱意を示すことを忘れると、それらの驚くべき業は止まってしまい、彼らの旅は進まなかった。』（アルマ 37:41）

わたしたちも小さなことの大切さを忘れ、先へ進めなくなることがないでしょうか（アルマ 37:46 参照）。大きな船も小さな舵かじ一つで操られているように、人生の方向も小さな出来事や選択によって左右されていることに気づいていないでしょうか（ヤコブの手紙 3:4；教義と聖約 123:16 参照）。……

……家族と個人の祈りを忘れず、聖文、特にモルモン書を学んでください。家庭の夕べを開き、互いに愛し合いなさいという救い主の戒めに従い、家族に対して思いやりと親切と

優しさを示してください。このような小さな簡単なことを通して、わたしたちは平安で喜びに満ちた生活を約束されているのです。』（『聖徒の道』1990 年 7 月号、5, 8）

アルマ 37:19 モルモン書の力

• 十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老（1915 - 1985 年）は、モルモン書の力はどんなところで発揮されているか、また将来どんなところで発揮されるようになるかについて述べている。「それでは、モルモン書にはどんな力があるのだろうか。この書物は永遠の福音を宣言するであろう。イスラエルを集合させるであろう。新エルサレムを建設する力となるであろう。人々を再臨に備えさせるであろう。福千年を来らせるであろう。少なくともこの書物は、これらのことが起こるうえで重要な役割を果たす。モルモン書の価値と力を無視することはできないのである。」（*The Millennial Messiah* [1982 年]、171）

アルマ 37:21, 27 - 29, 32 秘密の行いと闇の業を明らかにしない


• 十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、罪について詳しく教えずぎると、好奇心に駆られて罪を試してみたいと思うようになることがあると述べている。

「大きな間違いであるとわたしが確信しているのは、罪について教えずぎることと、教えるタイミングを誤ることである。……

ビショップとの面接で耳にしたことが元になって忌むべき罪や道に外れた不道徳な行いを試してしまった若者を何人か知っている。

教える者はこのことを心に留めていただきたい。教える者とは、指導者や教師、両親のことである。父親と母親が少しの間家を空けるときの様子を思い描いてほしい。両親は玄関を出るときにこれから留守番をする幼い子供たちにこう言いつける。『さあ、子供たち、良い子にしているんだよ。お父さんとお母さんがいない間何をしてもかまわないが、食べ物や飲み物をたくさんしまっている部屋に踏み台を持って行って 4 番目の棚に手を伸ばし、クラッカーの箱をどかしてその奥にある豆の入った袋を引っ張り出して、豆を一つ取って鼻に入れたりしてはいけません。分かったね。』

中にはこれと同じように愚かなことをしている人がいる。ユーモラスなたとえではあるが、親が出かけた後でまず起こることを考えるとぞっとする。確かにわたしたちはもっと賢く振る舞うことができる。純潔は神聖な事柄であることを若い人たちは何よりもまず知らなければならない。」（*Teach Ye Diligently* [1975 年]、256 - 257）

アルマ 37:35  「若いうちに……神の戒めを守る」ことを学ぶと、どのような祝福が与えられるだろうか。

• エズラ・タフト・ベンソン大管長は、人生の早い段階、まだ若いころに戒めを守ることを学ぶことから得られる力についてこう述べている。「わたしたちが望んでいるのは、道徳的に清い生活をし、教会に忠実に出席していた人です。神権を尊んで大いなるものとし、『神への務め達成賞』を得、イーグルスカウトになった人々です。そしてセミナリーを卒業し、モルモン書に対して燃えるような証（あかし）を持っている人です。わたしたちにそのような宣教師を下さい。そうすれば、わたしたちは彼らを伝道中も、生涯においても主のために奇跡を行える人にしたいと思います。」（『聖徒の道』1986年7月号、48）

• 聖文には、まだ若いうちに主から指導者に召された例が幾つか出てくる。預言者ジョセフ・スミスは14歳（ジョセフ・スミス—歴史1:7参照）、モロナイは15歳であった（モルモン1:15参照）。旧約聖書に出てくるサムエルが主から呼ばれたのは、まだ「わらべ」のときであった（サムエル上3:1-10参照）。

ジョセフ・F・スミス大管長（1838-1918年）は、人生の早い段階で戒めを守ることと、後に主に仕える召しを受けることとの間には関係があると証している。「今、自分の周りを見回してみるとよい。早くから熱意を込めて信仰の道を歩んできたわけではない人が、指導者の中にいるだろうか。そして、自尊心があって清いことが明らかな少年、熱心に善い業に携わっている少年を見れば、将来指導者になると確信できるのではないだろうか。主がこのような人物以外から指導者をお選びになることはない。……この反対の道を行くのは残念なことである。若いときに悪いことや愚かなことを行い、その後で主に仕えればよいと考える人々がいる。若いころに悪いことをしたり罪を犯したりして、後に義にかなった生活に戻る人がいるが、このような人には必ず何か欠けているものがある。……若いころの愚かな行いや罪を後に悔い改めても、後悔の念ややりきれない思いが残る。しかし、人生の早い時期から精力的に主の業に携わってきた人には、豊かな恵みが注がれる。」（*Gospel Doctrine*, 第5版、335）

アルマ 37:38 - 47

わたしたちの時代に、リアホナと聖文、またはリアホナと聖なる御霊の間には具体的にどのような共通点があると思うか。

アルマ 37:38 - 47 リアホナ

• 長年にわたって中央幹部は、リアホナのように人生の旅路を常に導いてくれる様々な手段について語ってきた。

七十人のW・ロルフ・カー長老は、キリストの言葉をリアホナにたとえている。「兄弟姉妹の皆さん、キリストの御言葉は一人一人に道を示す個人のリアホナとなることが……分かります。方法が容易だからということで怠けないようにしましょう。神聖な聖文に記録されたままに、生ける預言者、聖見者、啓示者から語られたままに、信仰をもって、キリストの御言葉を思いと心に刻みましょう。信仰をもって熱心にキリストの御言葉を味わいましょう。キリストの御言葉は、なすべきことをすべて告げる霊のリアホナだからです。」（『リアホナ』2004年5月号、37）

• トーマス・S・モンソン大管長は、リアホナを個人に与えられる祝福師の祝福にたとえている。「リーハイにリアホナをお与えになった同じ主が、今日皆さんにもわたしにも、人生の道しるべとなる比類のない価値ある賜物を与えてくださっている。……わたしが言っている賜物とは、祝福師の祝福として知られているものである。」（*Live the Good Life* [1988年]、36）

スペンサー・W・キンボール大管長は、リアホナをキリストの光、つまりわたしたちの良心にたとえている。

「皆さんはこのような球を持ちたくはないでしょうか。……

……主は……すべての人に、誤った道に入りかける度にそのことを告げてくれる『良心』というものを与えてくださいました。……

……すべての子供にそれが与えられています。」（『聖徒の道』1977年2月号、111参照）

• デビッド・A・ベドナー長老は、リアホナを聖霊の賜物にたとえている。

「人生の道を進むとき、わたしたちはそれぞれが、リーハイがリアホナによって導かれたのと同じように、聖霊から導きを受けます。……

リアホナがリーハイと家族のために働いたのとまったく同

じように、聖霊は日々の生活の中で、わたしたちの信仰と熱意と注意力に応じて働かれます。……

そして聖霊は今日わたしたちに、『小さな、簡単なこと』（アルマ 37:6）によって、主の道についてさらなる理解を得るための手段を与えてくださいます。……

主の御霊^{みたま}は現世の旅においてわたしたちの導き手となって、導きと教えと霊的な守りを与えてくださいます。』（『リアホナ』2006 年 5 月号, 30 - 31）

アルマ 38:12 「激情をすべて制し」

• 「馬勒^{ばろく}」とは、馬の頭部に着ける装具である。くつわと手綱から成り、騎手はこれを使って馬を制御する。



© Photospin

七十人のブルース・C・ヘーフェン長老と妻のマリーは、「制する」という言葉は欲望や情熱を制御するという意味で使われているのであって、なくすという意味で使われているのではないと説明している。「強い感情には悪いものもあれば良いものもある。だからといって、人間本来の感情を否定するのは賢明なことだろうか。アルマは息子にこう教えた。『激情をすべて制し、愛で満たされるようにしなさい。』（アルマ 38:12, 強調付加）激情を消し去るようにと、鎮めるようとも言っていない。制するようと言っているのである。つまり、強い感情を良い方向に向け、良い目的に集中するのである。なぜだろうか。それは、鍛錬することによって、より豊かな深い愛情を持つことができるようになるからである。』（*The Belonging Heart* [1994 年], 302）

アルマ 39 章 純潔の律法

• 「結婚する前にどのような性的な関係も結んではなりません。結婚した後は伴侶^{はんりょ}に対して完全に誠実であってください。二人が愛し合っていれば結婚前に性的な親密さを持つことは認められる、とサタンは誘惑するかもしれませんが。それは真実ではありません。神の目から見て、性的な罪は非常に重いものです。命を生み出すために神が与えてくださった力を汚してしまうからです。……

結婚の中でしか表現してはならない強い感情を引き起こすようなことも、結婚するまでしてはなりません。情熱的なキスをしたり、人の上に覆いかぶさったり、服の上からであれ服を脱いでであれ人の隠れた神聖な場所に触れてはなりません。あなたに対してもほかの人にそのようなことをさせ

てはなりません。自分の体に対してもそのような感情を刺激してはなりません。

デートやコートシップが認められている文化の下では、相手を常に敬い、自分の卑わいな欲望の対象として相手を利用することは決してあってはなりません。自分の体の中によぎる思いが容易に抑制できる安全な場所にいてください。性的な思いを刺激する会話や活動に加わらないでください。

同性愛行為は重い罪です。同性に魅力を感じて苦しんでいるときは、親やビショップに相談してみてください。必ず助けを与えてくれます。

強姦^{ごうかん}、近親相姦^{きんしんそうかん}、そのほかの性的虐待の犠牲になった人に罪はありません。もしあなたがこうした犯罪の犠牲者であったとしても、この点を知ってください。あなたは潔白であり神はあなたを愛していられっしゃるということです。すぐにビショップと相談してください。ビショップは心を癒^{いや}していく過程であなたを導き、助けてくれるでしょう。』（『若人の強さのために——神への務めを果たす』26 - 28）

アルマ 39:3 性的な罪の重大さ

• 十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、性的な罪が与える深刻な影響と、結婚するまで徳を保つことの大切さについて述べている。「肉体的な交わりに関しては、絶対に待たなければなりません。すべてを与えることができるようになるまで待たなければならず、法律と律法に基づいて結婚するまではすべてを与えることができないのです。自分の所有物ではないもの（『あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである』[1 コリント 6:19] という言葉を思い起こしてください）を与え、自分の全人格という賜物を伴わない形で自分の一部のみを与えることは、情緒的な破壊の危険を冒していることになるのです。もし天の承認を受けることなく肉体的な満足を追求めることに固執するならば、後になって霊的かつ心理的な損失を被る恐ろしい危険を冒すことになります。そして、結果的には肉体的な交わりを求める気持ちも、後のより真実の愛に向けられる心からの献身もともに損なってしまうことになるのです。そのような人は、神の良しとされる愛や真の一致によってもたらされる真実の瞬間を知ったときに、蓄えておけばよかったものを失ってしまい、あれほど気楽に少しずつ捨て去ってしまった純潔を回復できるのは神の恵みしかないという事実を知ってがく然とするのです。結婚式の日^{はんりょ}に永遠の伴侶にささげることのできる最良の贈り物、それは最良の自分自身、すなわち清らかで、純粋な自分、そのような清さを報いとして受けられる自らのふさわしさです。』（『聖徒の道』1999 年 1 月号, 84 - 85）

• ボイド・K・パッカー会長は、創造の力と救いの計画の関係を次のように説明している。

「創造の力、言うなれば生殖の力は、単に神の計画に付随する事柄ではなく、その計画の基礎を成すものです。この力なしに、計画は実施できませんでした。この力を誤って用いることは、計画を崩壊させることになります。」

皆さんがこの世の生涯で得ることのできる幸福の多くは、神聖な創造の力をどのように使うかにかかっています。』（『聖徒の道』1973年1月号、15）

アルマ 39：4

アルマはコリアントンに、誘惑から身を守るために
どうするべきであったと言っているか。
これをあなたの生活にどのように応用できるか。

アルマ 39：5 殺人の次に重大な罪

• ジェフリー・R・ホランド長老は、性的な背きがなぜ重大な罪であるかわたしたちがよく理解できるように、人の価値と贖罪しよくざいの関係について説明している。

「男性であれ女性であれほかの人の肉体、すなわちほかの人の霊を利用する人は、人の霊を救い、永遠の命を可能にしてください。くださったキリストの神聖な贖罪を汚していることになります。義の御子を嘲笑する人が、真昼の太陽よりも熱く神聖な栄光の世界に足を踏み入れたとき傷つかないことがあるでしょうか。」

どうぞ決して次のような発言をしないでください。『だれが傷つくというんだ。ほんの少し自由に振る舞ってどこが悪いんだ。今罪を犯しても後で悔い改められるさ。』どうぞそのような愚かで、残酷な人物にならないでください。『またもや神の御子を十字架につける』者は必ずやとがめを受けることになるでしょう（ヘブル 6：6 参照）。パウロも声を大にして『不品行を避けなさい』と告げています（1コリント 6：18）。また教義と聖約には『これに類すること』もしてはならないと付け加えられています（教義と聖約 59：6、強調付加）。なぜでしょうか。第1の理由としては、世の救い主が体と霊の両方に受けられた想像を絶する苦しみをわたしたちが受けることのないようにするためです。わたしたちはこの点で救い主に何らかの恩を受けています。正確に言えば、わたしたちはこの点に関してあらゆる面で救い主に恩があるのです。『あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである』とパウロは語っています。『あなたがたは、代価を

払って買いとられたのだ。それだから、神のものである、自分の体をもって、また自分の霊をもって、神の栄光をあらわしなさい。』（1コリント 6：19 - 20、欽定訳より和訳、強調付加）性的な罪を犯すときに、わたしたち、すなわちわたしたちの肉体と霊は危険にさらされるのです。』（『聖徒の道』1999年1月号、84 参照）

アルマ 39：6 ^{ゆる}赦されない罪とは何か

• 預言者ジョセフ・スミス（1805 - 1844 年）は、赦されない罪についてさらに述べている。

「聖霊に対する罪を除いては、すべての罪が赦される。なぜなら、イエスは滅びの子を除くすべての者を救われるからである。赦されない罪を犯すのは、どのような状態にある者だろうか。まず聖霊を受けており、天がその人に開かれている。そして、神を知っていながら、神に対し

て罪を犯す者である。聖霊に対する罪には、悔い改める余地がまったく残されていない。また赦されない罪を犯す者は、太陽を見ていてもそれが輝いていないと言い、天が自分に開かれていても、イエス・キリストを否定する。また、救いの計画が明らかにされていてもそれを否定する。そしてそのときから、敵となるのである。末日聖徒イエス・キリスト教会を去った背教者の多くが、このような道をたどった。」（*History of the Church*, 第6巻、314）



アルビン・ギティンズ、© 1959 IRI

アルマ 39：9 「もう自分の目の欲を追うことなく」

• 「もう自分の目の欲を追うことなく」という言葉は、わたしたちにどう当てはまるだろうか。科学技術が高度に発達した今日こんにちの世界にあって、サタンがこのような誘惑を仕掛けてくる手段は数多い。近年、多くの預言者が、様々な形態によるボルノグラフィーの危険性について警告している。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は、邪悪な思いを心に入れることの危険性について説明している。「救い主は性的な清さの大切さを強調し、情欲を抱いて女性を見ることさえも罪であるとお教えになりました（マタイ 5：28 参照）。……わたしたちの周りには男女の道ならぬ関係をけしかけるような文学があふれており、印刷された媒体や画面によく出てきます。これらを避けてください。それはあなたのためです。わいせつまたは扇情的な話や絵、写真は、汚染された食物よりもたちが悪いのです。体には、健康に良くないものが入ってきたときにそれを外に出す自己防衛機

能があります。まれに命の危険にさらされることがありますが、それは例外として、悪い食べ物を取っても、気分が悪くなるだけで、後を引くことはありません。これに対して、汚らしい話をむさぼるように読み、わいせつまたは扇情的な話や絵、写真に見入っている人は、脳という偉大な検索機能付きの記憶システムにそれを記録しているのです。脳は悪い情報を吐き出したりはしません。一度記録されたものはいつでも思い出すことができ、汚らしい画像が脳裏に浮かんで人生の健全な物事からあなたの心を遠ざけるのです。」(“Things They’re Saying,” *New Era*, 1974 年 2 月号, 18)

• エズラ・タフト・ベンソン大管長は、サタンが人の心にポルノグラフィーを取り込ませるために使う幾つかの手法について説明している。

「『自分の罪を捨て、これからはもう自分の目の欲を追うことなく』(アルマ 39:9) という、過ちを犯した息子コリアントンに預言者アルマが与えた言葉をよく考えてください。

現代において『目の欲』の対象にはどのようなものがあるでしょうか。

映画、テレビ、ビデオなど様々な例が挙げられます。

わいせつな雑誌や本などもその例でしょう。

若い男性の皆さん、そのようなもので心を汚さないでください。一度汚されれば、決して前とまったく同じ状態にはなれません。わいせつな映画やビデオを見たり、それに類するどんなものにも手を出したりしないでください。低俗な音楽を聴かないでください。」「(『聖徒の道』1986 年 7 月号, 47 参照)

• ゴードン・B・ヒンクレイ大管長 (1910 - 2008 年) も、ポルノグラフィーは邪悪なものであると証している。

「ポルノグラフィーは印刷され、興奮を誘う写真や絵は、悔いが残るだけの領域へと人を誘う。それは魅力的で心をそそのめる。すべての人が持つ本能をもてあそんでいるのだ。本能は、神が大いなる目的をもってわたしたちにお与えになったものである。ポルノグラフィーはこの本能をゆがめて禁じられた目的に向かわせるためにサタンが使う手段である。そこにはたいがい美しい若い女性とハンサムな若い男性が登場する。ポルノグラフィーを作成する目的は金もうけである。利用者の心をゆがめ、わなにはまった者の激情に火をつける。ポルノグラフィーの作成者は巨万の富を手に入れるが、そのわなに捕らえられた者は心痛と苦痛、後悔の念にさいなまれるのである。

それは多くの場合、新聞と一緒に売られている雑誌の中にあり、成人向けの映画を上映する映画館に登場し、家庭

のテレビの画面にも出てくる。」「(*Teachings of Gordon B. Hinckley* [1997 年], 460)

• アルマ 39:9 に出てくる「断つ (cross yourself)」という言葉は、今の人にはなじみがないかもしれない。しかし、1828 年版のウェブスターの辞書には、アルマが息子に与えた勧告を理解するのに役立つ次のような定義が載っている。「ぬぐい去ること、取り消すこと、無効にすること、やめること、排除すること。」(*Noah Webster's First Edition of an American Dictionary of the English Language*, 1828 [1967 年]) これはすべて、アルマが息子コリアントンに教えているテーマである道徳的な背きに陥らないようにするために行わなければならないことである。

アルマ 39:11 - 12 人を真理から引き離す

• アルマ 39:11 - 12 でアルマは、悪い模範が人を福音から引き離すことがあるという事実を不従順な息子コリアントンに説明している。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長 (1876 - 1972 年) は、人を真理から引き離すのは忌まわしいことであると警告している。

「この世で最大の罪は、神の子である男女を真実の原則から遠ざけることであるとわたしは考えている。わたしたちは今日、神に対する信仰、福音の原則に対する信仰を覆そうとする様々な哲学を目にしている。これは何と恐るべき事態だろうか。

生涯力を尽くしてたった一人でも救うならば、わたしたちはその人とともにどれほど大きな喜びを受けるだろうか、と主は言われた。反対に、もしわたしたちの行いの結果、一人の人がこの真理から遠ざかっていたとすれば、わたしたちの悲しみと受ける罰はどれほど大きいだろうか。

自らの教えで人を盲目にし、誤りを広め、人を神の王国に導き王国のすべてを与える神の真理を破壊する人は、どんなに大きな責めと罰を永遠にわたって受けることだろうか。というのは、人の身と霊を破滅することは、これまでに創造されたものの中でも最も偉大なものを破滅することだからである。」「(*Doctrines of Salvation*, ブルース・R・マッコンキー編, 全 3 巻 [1954 - 1956 年], 第 1 巻, 314)

アルマ 39:12 - 13, 15 「主に立ち返り」、自分の過ちを認める

• 「性的な罪に陥ってしまったときは、悔い改めのプロセスを踏み出してください。内面の平安を見いだし、御霊を十分に受けられるようにするためです。主の赦しを求めてください。ビショップに相談するなら、ビショップは真心から悔い

改めた人にだけ与えられる赦しをあなたが得られるように助けてくれるでしょう。」(『若人の強さのために』28)

• リチャード・G・スコット長老は、「主に立ち返り」、不道德な行為などの重大な罪を赦していただくために行うべきことを説明している。「ここで大きな誘惑に負けてしまった方々に少しお話したいと思います。どうか悪い癖を今すぐやめてください。理解ある両親、ビショップ、あるいはステーク会長の助けを借りてやめることができます。不道德な行為などの重大な背きを犯した人が完全かつ適切に悔い改めの過程をだれに知られることもなく着実に全うするには、ビショップやステーク会長など適切な権能かきを持つ人の助けが必要です。重大な背きについて告白してしまえば悔い改めが終わったと考えるような間違いを犯さないでください。告白は大切な段階ではありますが、悔い改めに必要なことのすべてではありません。またビショップやステーク会長があなたの背きについて詳しいことを尋ねなかったからといって、皆さんはそれらのことを話す必要はないと考えないでください。皆さんの務めは、自分が犯した罪の内容をビショップやステーク会長に十分に理解させることです。これは、皆さんが彼らの助けを受けて悔い改めの過程を正しく歩み、完全に罪の赦しを得られるようになるためです。」(『リアホナ』1999年1月号, 75 参照)

• ジェフリー・R・ホランド長老は、心から悔い改めるならば主はそばにいて力づけてくださると教えている。「主イエス・キリストの贖いあがなの犠牲を通して平安と悔い改めによる再生の道が開かれています。そのような深刻な問題に関しては、悔い改めの道を歩み始め、進み続けるのは決して容易ではありません。しかし、世の救い主は、自ら足を踏み出そうとするすべての人とともにその救いに至る道を歩んでくださいます。くじけそうになるとき、力づけてくださいます。最も暗いと思えるときに、あなたの光となってくださいます。すべての希望がうせたと思えるときに、主はあなたの手を取り、あなたの希望となってくださいます。主の思いやりと憐れみ、そしてすべての清めと癒しの力は、完全な赦しを得たいと望み、それに至る階段を1段ずつ上って行くすべての人に惜しみなく与えられているのです。」(『リアホナ』1999年1月号, 85 - 86)



© 1989 タグラス・フレイヤー

アルマ 39:17 - 19 救いの計画は世界が創造される前に知らされていた

• 何らかの形の死後の世界があるとする宗教はあるが、前世の存在を信じる宗教はあまりない。預言者ジョセフ・スミスは、主が創造の前から御存じであった事柄について説明している。「大いなるエホバは、救いの計画に関してこの地上に関連のあるすべての出来事を、地球が存在する前……から深く考えておられた。過去、現在、未来は、主にとっては一つの永遠の『現在』である。主はアダムの墮落や大昔の人々の罪悪について、また人類家族がかかわるであろう罪悪の深さ……について御存じだった。人の墮落と、人の贖いあがなについて理解しておられた。救いの計画を御存じであり、それを示された。すべての国民の状況とその行く末を知っておられた。……主は生者と死者がそれぞれに置かれている状況を御存じであり、……彼らが贖いを受けられるように十分な用意をしてくださっているのである。」(History of the Church, 第4巻, 597)

理解を深めるために

- アルマは、神の實在と福音が真実であることを確信した瞬間、自分の過去の罪に対する深い悲しみに襲われた。なぜだろうか。今日のわたしこんにちたちにどう当てはめることができるだろうか。
- アルマは息子ヒラマンに聖文の大切さを強調した。現代の預言者も同じことを強調している。あなたは日々の聖文研究から祝福を味わっているだろうか。あなたの知っている人の中にこの祝福を味わっている人がいるだろうか。定期的に聖文をよく味わっている人の生活にはどのような祝福が注がれるだろうか。どうすれば定期的に個人で聖文を学ぶ習慣を身に付けることができるだろうか。また、すでにこの習慣がある人は、どうすればより充実させることができるだろうか。
- 良いときも悪いときも揺るぎない信仰を持てるようになる方法として、シブロンシブロンの模範から学べることにどんなことがあるだろうか。

割り当ての提案

- アルマの悔い改めと赦しゆるの経験から学べる原則は、状況が異なるとはいえ、今日のわたしこんにちたちにとっても同じである。その原則を1枚の紙にまとめ、現代のわたしたちにそれがどう当てはまるかを書く。
- アルマは、性的な背きは殺人に次ぐ重大な罪であるとコリアントンに告げている。自分を清く保つために今できることを計画し、その手順を具体的に書き出す。